No.1099

帰ってきた《五重塔》

■写真は、平成23（2011）年３月の東日本大震災で岩手県大槌町が大きな被害を受けたことに衝撃を受けた市内在住の森崎安徳さんが「被災した方の心を癒やす支援がしたかった」との思いから、同年９月から約半年かけて制作した《五重塔》です。鎮魂の祈りを込め大槌町へ送られた《五重塔》は、「2012年から今年まで大槌町役場内に展示され、約10年間大槌町民を勇気づけ、役目を果たし帰ってきた」と森崎さん。現在88歳となった森崎さんは、「東日本大震災の記憶を風化させてはならない。今後は千歳市民を勇気づけたいので、自宅（錦町４丁目）の外からも見える場所に置いておきたい」と我が子を見るような目で話していました。

森崎（もりさき） 安徳（やすのり） さん（錦町在住）

森崎さんの自宅に帰った五重塔。右は、大槌町へ送る前に市役所で披露された平成24年当時の写真

《瞬きの点景。》の写真を募集中
詳しくは市ホームページを参照

あのとき、あの場所

瞬きの点景。

SCENERY OF MOMENT

カメラが光を捉えるほんの一瞬。映り込む人物やものごと。千歳ならではの魅力が、残したくなる風景が、そこにある。

毎月20ごろに配信しているウェブ版広報《ソラタヨ。》、登録をお願いします。

今月の表紙

今月の22日で、初めて千歳に飛行機が着陸してから95年を迎えます。はじめて着陸した飛行機《「北海」第１号》の原寸大模型が名水ふれあい公園内にある蘭越浄水場の水道情報館に展示されています。

9月21日／蘭越浄水場（蘭越）で撮影

フォーカスゴト

編集後記

■今月号の表紙を撮るため、名水ふれあい公園にある蘭越浄水場へ。緊急事態宣言中のため、無人の中、「北海」第１号を撮影することができた。特別に上からも撮影することができ、翼幅の距離に圧倒された。皆さんも初めて千歳に降り立った飛行機を見て、空港の歴史を感じてみませんか。

■先日、幼稚園からのお便りで今年が《児童憲章》制定70年ということを知りました。憲章には「児童は、人として尊ばれる。社会の一員として重んぜられる。よい環境の中で育てられる。」と書かれています。子育て当事者として、少年団の指導者として、改めてこの憲章の重みに気づかされました。

広報ちとせ（第1099号）令和3年10月10日発行
■発行・編集／千歳市企画部広報広聴課
〒066-8686 千歳市東雲町2丁目 ☎(24)0104 FAX(22)8851
■市のホームページアドレス https://www.city.chitose.lg.jp/
■印刷／千歳印刷株式会社

■視覚に障がいのある方用の「音訳」「点訳」の広報もあります。詳しくは、☎(27)3921まで。